

区民が輝く品川へ ～品川区の施策から～

飯田市と災害時の 相互援助協定を締結

品川区は令和6年10月、長野県飯田市と「災害時における相互援助に関する協定」を締結しました。リニア中央新幹線が開通すれば飯田市と品川区は45分で結ばれます。区議会公明党は飯田市を視察するなど、自治体間の交流を深める働き掛けをしてきました。今後は更に連携が広がるよう取り組みます。



飯田市と災害協定締結

軟骨伝導補聴器の 窓口配備を拡充



加齢性難聴など聞こえにくい人が区役所などで相談する際の助けとして、区は軟骨伝導イヤホン2台を区役所内窓口で先行配備しました。利用者の評価が高かったことを受け、新たに35台を追加購入して、区役所や地域センターなどの各相談窓口で配備します。

特別支援学校の 補助教材費を 実質無償化



品川区は、今年度から区立小中学校において学用品を無償化しましたが、特別支援学校に通う児童・生徒も同様に補助教材に掛かる費用負担を軽減するため、実費相当を支給します。

オンデマンド 交通実証実験



公共交通サービスの圏域外に一部の地域が位置づけられている荏原地区において、地域の交通課題を解決するためAIを活用したオンデマンド交通の実証実験を実施します。

実施に向けたスケジュール	令和7年2月	事業者選定
	令和7年3～6月	地域への周知
	令和7年7月頃	実証実験開始

「ユースヘルスケア しながわ ほけんしつ」が本格実施

10代の若者が自身の心と身体の健康について抱く思春期特有の悩みを受止め、正しい知識を啓発するため、チャットや面談での相談事業を令和7年1月から実施します。

しながわチャット	水曜を除く平日 午後4時～9時 日曜 午前10時～午後3時
しながわカフェ	月1回の対面相談会を開催し相談員が対応

子ども・女性視点の 避難所備蓄品配備



過去の災害では、避難所において子どもや女性のニーズが十分に配慮されないケースが多くあったため、子どもや女性視点の避難所備蓄品を配備します。

品目	おしりふき、おむつ処理袋、女性用下着、授乳服・ケープ、防犯ブザー
----	----------------------------------

不登校ポータルサイト ～ぷらっと～開設



不登校の児童・生徒や保護者に対して居場所や学習支援、不登校に関する情報を提供して、早期支援につなげられるよう不登校ポータルサイト「～ぷらっと～」を令和6年11月6日に開設しました。

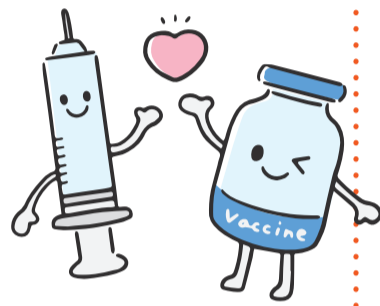


令和7年度に 実現を目指す施策

- 小・中学生の修学旅行、移動教室費用の無償化
- 賃貸住宅を契約する際、残置物処理保険の保険料を補助
- 大学生等への給付型奨学金制度の創設
- マンション防災のための備蓄品・資機材の購入費補助

一般質問

- Q 民間運動施設や運動記録機能付きスマートウォッチの活用で、高齢者の健康増進を。
- A 民間事業者との連携拡充とICT機器の活用等の支援を検討する。
- Q 高齢者等の住まいの確保支援を。
- A 住まいの総合相談窓口の検討を進める。また、住まい確保と見守り等生活支援を一体的に提供する高齢者住宅生活支援サービスの利用負担軽減を検討する。
- Q タバコ煙害対策を。
- A 民間公衆喫煙所の整備を促進し、路上喫煙規制強化を検討する。
- Q RSウイルス感染症について、周知啓発とワクチン接種費用の助成を。
- A 区ホームページ等で周知啓発し、国の定期接種化の検討を注視する。
- Q 広町再開発に合わせ大井町駅のバリアフリー対策として、エスカレーターや手すり付きスロープの設置を。
- A 広町再開発に関連し大井町駅舎の改修も踏まえながら、鉄道事業者へ引き続き強く要望する。



- Q 第1子まで保育料無償化の拡充について区の方考え方を聞く。
- A 東京都との連携を密にし、早期実現に向けて具体的な検討を進めていく。
- Q 住まいに関する総合相談窓口の開設は、福祉的な視点も踏まえ、庁内横断の体制での取組みを。
- A 様々な支援をワンストップパッケージで提供できるよう、住宅部局と福祉部局が強力に連携を図りながら取り組む。
- Q 各会議や審議会での若者枠を設けて、子ども・若者の意義ある参画を促し、積極的に子どもや若者の意見を区政に反映する場を拡充しては。
- A 子ども若者が主体的に参加し、意見を述べるができる仕組みを構築するなど、形式的ではなく実質的な「意義ある参画」を実現するため、新たな会議体の設置を含め、積極的に検討を進め、年齢や発達の段階に応じて、子ども・若者が委員として区政に参画する場の拡充について検討を進める。



決算特別委員会 総括質疑

- Q 大学の授業料・入学金に対する所得制限のない品川区独自の給付型奨学金の創設を。
- A 所得制限のない区独自の大学生向け奨学金について具体的に検討する。
- Q 修学旅行費や校外体験活動の無償化と中学校・義務教育学校の制服の無償化を。
- A 今後の予算編成作業の中で考え方を整理し検討する。



- Q 流域対策への民間の貢献に対して、区として顕彰し、更に民間の協力が得られる施策の検討を。
- A 様々な場面を捉えて、民間の取組をPRするなど、民間の協力を一層得られるよう検討を行っていく。
- Q アピランスケア事業の対象をがん患者以外の片目失明者などにも拡大を。
- A 都や他区の動向を注視しつつ、支援の拡充について検討する。

令和7年度 予算要望

区議会公明党は、区民の皆様から寄せられた声を273項目の政策提言、また区内34団体との懇談会で伺った363項目の団体要望を、令和7年度品川区当初予算要望にまとめ、令和6年9月12日、森澤恭子品川区長に手渡しました。区長から「多岐にわたる、様々な視点から重要な提案をいただきました。予算編成に向けていただいたご提案をしっかりと検討してまいります。」などの話がありました。



公明党の区議会議員



若林 ひろき



こんの 孝子



塚本 よしひろ



あくつ 広王



つる 伸一郎



新妻 さえ子



ゆきた 政春

皆さまの声を聞かせてください。お気軽に、ご意見・ご要望をお寄せください。

電話 03(5742)6817

FAX 03(3774)3366

Eメール info@shinagawa-komei.org